

区政等に関する陳情

(総務委員会付託)

受理番号 第49号の1

受理年月日 令和6年8月 1日

付託年月日 令和6年9月26日

陳 情 者

陳情原文

1 監視カメラの設置について

基本的に区役所や警察署は積極的に監視カメラを設置しません。江戸川区役所に聞いたところ、地元の自治会は高齢者が1人で回しているようで、今期は6台の監視カメラを設置する予定らしいですが、江戸川区は広いですし、葛西警察の刑事課の警部補に聞いたところ、駅前には監視カメラはあるが、街中には全然ないと言っていました。2021年7月5日に私は監視カメラのない場所で自転車に乗っている時に殴られ、頭を打ち救急車に乗って、今でも後遺症（左半身麻痺）で苦しんでいます。当時、警察は「監視カメラがない」、「神の目のようなものがあるとは思わないことだ」、「被害届を出してもカメラがないから無駄」と言って、監視カメラがないという理由で被害届を受理してくれませんでした。（現在は弁護士をつけて無理やり被害届を通しました。警察官もルールを破るなど最近は多く見かけます。）

私の母も、監視カメラのない場所で自転車で走行中に倒され怪我をし、その間に現金を奪われました。それは自営業の父の事業資金でもありました。お金も返ってこなく、今は両親と私ともども体を壊し生活保護に陥っています。（これは事実として警察署に記録が残っているものです。父は脳梗塞で植物人間状態で、親子そろってあまり良い人生ではないです。一生懸命、働いたお金が消えてなくなっても、リーマンショックも重なり、救済が何もありませんでした。）

江戸川区ではないですが、隣の江東区でも一時期、週刊誌で話題になった「ながらスマホタックルおじさん」という、ながらスマホをしている人にタックルしてくる人がおり、私もスマホの時計を確認している時にタックルをされ怪我をし、これも深川警察署に通報しましたが、またしてもカメラがない場所でした。要するに、犯罪者は皆「カメラのない場所」を選んで犯行に及びます。民間のカメラに期待するのではなく、行政でポイントを絞ってカメラを設置するなど、あっても良いのではないのでしょうか。その監視カメラがある場所は安全になっていきます。

2 やかましいバイクを禁止する条例について

江戸川区は過去、暴走族の多い地域でした。今でも当時の暴走族をやっていた

(裏面に続く)

世代のバイクを、その息子が乗って暴走をしている実態などもあり、葛西警察にもよく通報が入っています。

改造バイクで集団暴走し爆音を発しながら走る、これは犯罪ですが、集団暴走していないが、緊急車両の10倍くらいうるさい改造をしたバイクなどや、マフラーを外したやかましいバイクなどもあり、「警察の交番の前を素通りしているので、交番の警察官に、なぜ直管のマフラーを外したバイクや改造バイクが交番の前を通っているのに注意しないのか」と、苦情を交番に出した事がありました。警察は基本的に余計な仕事はしたくないので、見て見ぬふりが多い実態もあります。弁護士の方々からも、よくそういう話を聞きます。上記に書きましたが、いつもの改造バイクの地元の暴走族がガレージに隠しているバイクを出してコンビニの前に10人くらいで集合している時も、110番で警察に通報しましたが、警察官に勇気がなく、警察官は暴走族が走り去るまで隠れ、私が警察官に「あそこに早く行ってください」と現場で何度も言いましたが警察官は勇気が出ず何もしてくれず、暴走族が去ってから言い訳をしていたので、葛西警察にその事情を話し、葛西警察から謝罪された事実も、葛西警察の交通課に残っています。

警察官も公務員なので、身の危険を犯さず毎月給料をもらいたい、のらりくらり言い訳をして職務を執行しない警部補なども多く、いつまでも警察官の悪い体制も抜けません。パトカーに指示を出す司令台の警察官も、現場に急行したが暴走族など存在しないと、いつまでもいなかった事にするので、警察に期待できません。

とりあえず、やかましいバイクは条例で禁止の対象にすることが希望ですが、色々な利権問題もあって難しいと思います。現状、酷く体を壊しているのに、定期的にやってくる暴走族に深夜起こされ、警察に通報してもバイクが去ってから20分後くらいに自転車で現地にくるので、警察への通報が無意味ですし、現場にきた警察官も、自転車ではバイクに追いつけないといつも言っています。監視カメラがあってもバイクのナンバーを外して集団暴走しているので、暴走族を追ってはいけないという警察のルールもあるため、現状は暴走族が事故を起こさない限り、無制限に集団暴走を出来る状態になっています。2月から警察に毎日のように通報していますが、現在7月ですが全く改善しません。ただ真夏はバイクでは暑いため、暴走行為も減ってきていますが、また夏でも涼しい夜や夏以外の季節になると集団暴走が再開します。

暴走族の漫画やドラマが流行ると、また暴走族も増える地域ですし、警察に捕まらない暴走族がいるぞと思うと、我も続けと暴走行為をする者が増えていくので、早めに対応して頂きたいです。高齢者なども爆音で転倒する、蛇行運転でバイクにひかれそうになる、なども多く目撃しており、地域住民と協力して一部の暴走族の家やバイクのガレージも特定し、葛西警察に細かく教えていますが、何

(次頁に続く)

も改善しません。他にも犯罪があつて葛西警察に被害届を出そうとしても、警察側が犯罪捜査規範という法令を無視し、忙しいから出さないでくれと言われる、更に出そうとすると「あんた頭おかしいのか」と区民を数時間かけて馬鹿にし続ける刑事課の言動なども多く、公安委員会が調査して正式に葛西警察が悪いと認める文章を貰った事や、弁護士の先生を雇わないと被害届を受理されない実態が強いので、警察は期待できないので、もう条例で、やかましいバイクは強く禁止と検討してください。

3 “逆”カスタマーハラスメント対策について

江戸川区役所の職員や警察官もそうですが、特に高齢の公務員が敬語を使わず、理由を聞くと「お前の方が年下なんだから、年上を敬うのは当然だろ」と、訳の分からない理由で見下してくる公務員が江戸川区にも一定数います。本来、歳は違っても対等の立場で話すべきだと私は思っていますし、社会常識もそうなのではないでしょうか。男性もいれば、女性も普通に敬語を使わない、上から目線で話す人もいます。正直、上下関係をそこで確定され、主従関係みたいになるので、受け答えに困ります。

以前、とある警察官が「警察は事件や事故に毎日追われているので、社会勉強をする暇がない」と言っていた人もいます。以前、警部補から巡査や巡査部長などで喧嘩なども絶えず、部下の管理に困っているなども愚痴の一部として聞いたことがあります。実態調査をしても組織を守るため、「そんな事はない」と言われるのがオチですが、実際にある話です。江戸川区役所の職員、ケースワーカー、警察や医師などもそうですが、高齢になると相手にマウントをとって上から命令しやすいようにするという人が一定数います。

私は生活保護を受ける前はシッカリした企業で管理職をやっていたので、部下の管理も理解していますし、新卒の人にも“さん付け”で、相手を尊重して敬語で話していました。それが、あるべき社会の姿なのではないでしょうか。

最近は「カスタマーハラスメント」などの言葉もありますが、江戸川区役所や警察などの公務員側の電話対応が横暴で、「“逆”カスタマーハラスメント」も増えています。東京都庁も現在はカスタマーハラスメント対策を講じようとしています。東京都庁も現在はカスタマーハラスメント対策も同時に講じてください。公務員側の受け答えが悪いケースも結構多いと思います。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 安全のため、ポイントを絞って積極的に監視カメラを設置すること。
- 2 やかましいバイクを条例で強く禁止すること。
- 3 “逆”カスタマーハラスメント対策をすること